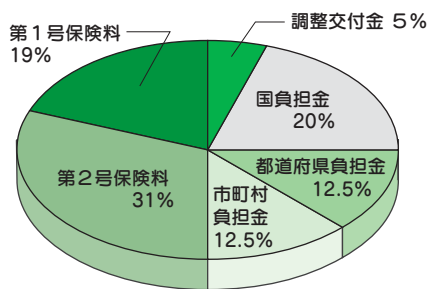


介護保険事業計画を策定しました

介護保険料額が変わります

市では平成18年度から平成20年度までの3年間の「第3期介護保険事業計画」を策定しました。この介護保険事業計画とは、市内の高齢者が、自立した生活を少しでも長く営むことが出来るようにするために、どのような介護サービスがどれくらい必要なのか、またそのための保険料負担はどのくらいになるのかを想定し、介護保険事業を円滑に進めるための計画です。

(グラフ)
介護保険
財源内訳



(表1)要介護認定者数

(人)

	要支援	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
平成15年度	500	1,148	493	434	564	501	3,640
平成16年度	520	1,205	498	489	538	538	3,788
平成17年度	486	1,298	533	478	577	532	3,904
平均増加率	-1.4%	6.5%	4.1%	5.1%	1.2%	3.1%	3.6%

(表2)保険給付額

(万円)

	平成15年度	平成16年度	平成17年度見込	平成18年度	平成19年度	平成20年度
在宅サービス	18億9,487	21億4,970	24億8,025	29億4,474	31億7,348	34億6,189
施設サービス	31億5,228	31億5,989	31億6,818	30億2,146	30億2,146	31億1,463
高額介護サービス	3,286	3,162	2,847	3,500	3,800	4,000
審査支払手数料	840	742	874	835	1,001	1,202
計	50億8,841	53億4,862	56億8,565	60億0,955	62億4,295	66億2,854

(表3)第3期の給付見込額と保険料など

	平成18年度	平成19年度	平成20年度
65歳以上人口	24,152人	24,382人	24,540人
標準給付費見込額	60億0,955万円	62億4,295万円	66億2,854万円
地域支援事業費	1億1,680万円	1億4,150万円	1億7,920万円
年額保険料(月額保険料)		50,340円	(4,195円)
(参考)		大館市	44,436円 (3,703円)
第2期年額保険料		旧比内町	41,400円 (3,450円)
(月額保険料)		旧田代町	39,600円 (3,300円)

事業計画の内容
65歳以上の高齢者人口
65歳以上の高齢者人口は、今後少しずつ増えていくと予想されます。特に75歳以上の後期高齢者の人口増が予想されます。**要介護の認定を受ける人の数**
65歳以上の高齢者人口の増加に比べ、後期高齢者の増加が大きくなるため、今後、要介護認定を受ける人が増えていくと予想されます。**介護サービスの利用に伴う保険給付額**
要介護の認定を受ける人が増えると、介護サービスを受ける人も増え、それに伴い保険給付

額も増えると思われ、地域支援事業
市内6カ所に高齢者を支援する地域包括支援センターを設置するとともに、介護を受けなくても地域で生活することが出来る状態になるよう介護予防に重点を置いた事業を展開します。**介護関連施設の整備**
デイサービスセンター、グループホーム、介護老人福祉施設などの整備を行います。**保険料が上がります**
介護保険事業を行うための財源の内訳はグラフのとおりです。皆さんが納める介護保険料(全体の50%)、国(同20%)、県(同12.5%)、市(同12.5%)な

どとなっております。では、どうして保険料を上げなければならないのでしょうか。**要介護者が増えている**(表1)
高齢化の進行にともない、要介護者数が増えています。**介護サービスの利用が増えている**(表2)
介護保険制度の定着とともに、サービスを利用する人の数やサービスを利用する回数や種類などが増えています。**在宅・施設サービスの基盤を整えます**
在宅・施設サービスをより充実させるために、介護関連施設などを計画的に整備していく必要があります。

所得段階に応じた介護保険料額

第1段階	生活保護受給者、老齢福祉年金受給者で世帯全体が市民税非課税	基準額×0.4	年額20,136円
第2段階	世帯全体が市民税非課税で、合計所得金額+課税年金収入額が80万円以下	基準額×0.53	年額26,676円
第3段階	世帯全体が市民税非課税で、第2段階以外	基準額×0.65	年額32,724円
第4段階	本人が市民税非課税	基準額	年額50,340円
第5段階	本人が市民税課税で合計所得が200万円未満	基準額×1.35	年額67,956円
第6段階	本人が市民税課税で合計所得が200万円以上	基準額×1.6	年額80,544円

第3期の給付見込み額などをまとめたものが、表3です。所得段階に応じた介護保険料は、左の表の額となります。標準保険料は上がりますが、これまでよりも段階を増やし、低所得者層へ配慮しています。